



# 水道局からのお知らせ

## 平成25年度決算のあらまし

東日本大震災の影響で大幅に減少した水道料金収入は、給水戸数の増加などで、震災前に近い水準まで回復しました。また、東京電力(株)からの損害賠償金収入や国庫補助金収入など、財源の確保に努めた結果、前年度を上回る9億4,534万円の純利益(黒字)を確保できました。

この純利益を施設整備の財源としながら、今後も水道水の安全・安心の確保と安定供給のため、全力で取り組みます。

問／水道局経理課 ☎5351-1121

### 収益的収支

水道水を市民の皆さんへお届けするための費用と財源です。

収入合計 77億8,166万円	
収入	お客さまからの水道料金 70億6,732万円 (90.8%)
	その他 7億1,434万円
支出合計 68億3,632万円	
支出	企業団からの水購入費(受水費) 27億4,212万円 (40.1%)
	その他維持管理費 17億1,333万円
	人件費 8億997万円
	減価償却費など 15億8,290万円
	純利益 9億4,534万円

### 資本的収支

水道施設を新たに建設したり、更新・耐震化するために必要な費用と財源です。

純利益はもうけではなく施設整備の財源になるものです。

収入合計 13億7,859万円	
収入	借入金(企業債) 9億600万円 (65.7%)
	補助金など 4億7,259万円
	不足額(19億930万円) (前年度から繰り越した財源と内部に留保される減価償却費などおよび純利益で補てん)
支出合計 32億8,789万円	
支出	借入金の返済(企業債償還金) 21億8,044万円 (66.3%)
	施設整備費(建設改良費) 11億745万円

### 9月は防災月間です

水道局の取り組みと、家庭でもできる備えをご案内します。

#### ■災害に強い水道の構築

地震災害時の漏水事故などを最小限にするため、基幹管路や老朽化した管路などを計画的に耐震性のある水道管に交換しています。

#### ■飲料水の確保

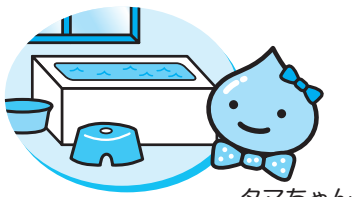
漏水などが起きた場合に、最低限の飲料水を確保するため、市内13カ所の配水池に緊急遮断弁(異常時に水の流出を止める装置)を設置して備えています。

#### ■家庭での備え

災害時の備えとして、復旧や給水車の到着までの応急対策として、家庭でも3日分程度の飲料水の備蓄をお願いします。

(1人当たり…) 1日3リットル×3日

また飲用以外に、風呂水の汲み置きはトイレなどに転用できません。



タマちゃん

問／水道局水道総務課

☎5351-1116

### 鉛製給水管取替工事補助金交付制度

鉛製給水管は、昭和35年まで本市で使用され、現在も主に旧市内や飯坂地区に残っています。水道局では、鉛製給水管の取り替えの際、工事費の一部を助成していますので、ご利用ください。

#### ■対象

鉛製給水管取り替え工事を行う住居などを所有し、市税・上下水道料金を滞納していない方。個人・法人は問いません。

#### ■補助額

工事費の2分の1(上限は公道部が15万円、宅地内が5万円) ※助成を受けるためには、水道局指定給水装置工事業者へ依頼して、取り替え工事を行う必要があります。ご自宅が鉛製給水管かどうかは、お問い合わせください。

問／水道局給水課

☎5351-1126